

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2019年												2020年																		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月 ~1日	3月 ~8日	3月 ~15日	3月 ~22日	3月 ~29日	4月 ~5日	4月 ~12日	4月 ~19日	4月 ~26日	5月 ~3日	5月 ~10日	5月 ~17日	5月 ~24日	5月 ~31日	6月 ~7日	6月 ~14日	6月 ~21日
カンピロバクター	56	46	78	65	87	128	102	107	157	62	49	91	42	46	6	8	13	11	17	10	19	13	12	13	12	11	33	23	37	48 (49)	43
病原性大腸菌	85	81	77	69	51	59	51	37	85	46	41	39	22	34	9	5	9	9	7	6	12	6	6	1	5	7	3	8	13	18 (19)	17
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	0	0	1	3	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	1	
サルモネラ	5	3	11	6	3	11	5	12	18	9	13	13	4	1	1	0	0	0	1	2	2	0	0	1	0	3	1	5	1	2	2
黄色ブドウ球菌 MSSA	10	9	12	13	14	24	11	17	15	8	10	26	6	20	2	4	3	1	1	1	0	2	0	3	0	2	2	2	2	5	4
黄色ブドウ球菌 MRSA	22	16	22	14	11	12	18	12	15	10	10	10	10	11	4	1	6	2	4	3	2	2	1	5	2	4	1	2	3	2 (3)	5
腸炎ヒブリオ	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	0	0	3	1	2	4	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
ロタウイルス	2	3	2	9	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	1	0	1	3	2	1	0	1	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	23	23	11	11	2	5	0	1	1	0	6	19	10	14	3	2	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和2年第25週(6月15日~6月21日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	11	結核	11	1	1	1	1	5		2
三類	3	腸管出血性大腸菌感染症	3					2		1
四類	3	重症熱性血小板減少症候群	1				1			
		レジオネラ症	2	1						1
五類全数	4	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	2	1					1	
		急性脳炎	1							1
		クロイツフェルト・ヤコブ病	1							
指定	0	新型コロナウイルス感染症	0							

注) 西部…大竹市, 廿日市市, 府中町, 海田町, 熊野町, 坂町, 安芸高田市, 安芸太田町, 北広島町, 江田島市
東部…三原市, 尾道市, 世羅町, 府中市, 神石高原町
西部東…竹原市, 東広島市, 大崎上島町
北部…三次市, 庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

1. 新型コロナウイルス感染症
 5月4日以降、広島市では新たな患者の発生は報告されていません。
 引き続き、健康管理に注意し、身体的距離の確保、マスクの着用、手洗い、「3密」を避けるなど感染予防、拡大防止対策を徹底しましょう。

2. 咽頭結膜熱
 定点当たり0.42人の報告がありました。
 例年5月頃から夏季にかけて報告数が多くなる傾向にありますので、流水・石けんによる手洗い、タオルの共用は避けるなどの感染予防対策を心がけましょう。



* 新型コロナウイルス感染症に関する最新の発生状況、相談窓口等については、広島市ホームページ「新型コロナウイルス感染症に関する情報 (<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/>)」からご確認ください。

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
小児科	インフルエンザ	-	-	-		小児科	流行性耳下腺炎	2	0.08	0.71	
	咽頭結膜熱	10	0.42	0.73		眼科	RSウイルス感染症	1	0.04	0.26	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	19	0.79	3.00	▲		急性出血性結膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	50	2.08	6.23	◁		流行性角結膜炎	-	-	1.15	
	水痘	7	0.29	0.27		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	2	0.08	3.52			無菌性髄膜炎	-	-	-	
	伝染性紅斑	2	0.08	0.43			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.14	
	突発性発しん	20	0.83	0.43			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	1	0.04	1.49			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.17	

急増減	▲	▲	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	▲	▲	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	▲	▲	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→	→	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	5	70	男性(10歳未満)・1人、男性(40歳代)・1人、男性(60歳代)・1人、女性(80歳代)・2人
3	腸管出血性大腸菌感染症	2	7	男性(10歳未満)・O血清群不明、女性(10歳代)・O